



外国人材に
選ばれる
熊本を目指して

Vol.4

やさしい日本語の紹介（2）

公益財団法人 地方経済総合研究所 特別研究員 前田 和則
 熊本学園大学 非常勤講師（日本語科目）
 専修学校 久留米ゼミナール 非常勤講師（キャリア教育科目・日本語科目）
 修士（文学）・修士（大学アドミニストレーション）



外国人材受け入れに関してお困りごとがございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。
 （ご支援例）外国人材の獲得の支援、外国人材の日本語教育支援、日本人社員向け異文化理解研修 等
 公益財団法人 地方経済総合研究所（担当：前田）TEL：096-326-8625 / MAIL：info@reri.or.jp

1 はじめに

7月号で紹介した「やさしい日本語」は話す時だけでなく、配布物や掲示物等、書いて見せる際にも活用できます。図表1はある企業で実際に掲示していた掲示物です。この掲示物を参考にどの点が外国人に伝わりづらいか検証してみます。

2 やさしい日本語の作り方（書き言葉）

図表1は通常使用している日本語で表記された「会議室利用のお願い」の掲示物です。図表1をやさしい日本語に書き換えたものが図表2です。書き換えるにあたり、注意したポイントは下記です。

(1) 漢字にはふりがなをふる

漢字を使う国から来た外国人であれば、漢字を使った方が伝わりやすいですが、漢字を使わない国が多いこと、すべての漢字にふりがなをふりません。但し、外国人に配慮し、ひらがなだけで表記すると、日本人に伝わりづらくなりますので、漢字の使用自体は問題ありません。

以降は会員専用ページにて公開しております。

(2) 簡単な言葉を使う

話し言葉同様に、難しい言葉は避け、簡単な言葉を使いましょう。小学校3、4年生が理解できるような言葉が理想です。また、カタカナではなく、「マスクをつけます」のように、漢語ではなく、和語の方が伝わりやすいです。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより
アクセスをお願いします。

(3) 具体的な表現にする

「手指消毒の徹底」の「徹底」は曖昧でわかりにくいので、「会議の前に消毒をします」のように、いつするのか具体的に示します。「長時間」ではなく、「30分以内」のように「長時間」がどのくらいの長さなのか、具体的に示すことによって、感覚が異なることから、具体的に何分なのか、何時間なのか示す必要があります。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)